

高校生がリサイクル体験就労

熊本で石坂グループ



廃棄物の処理・リサイクルに取り組み有価物回収協業組合石坂グループ（熊本市、石坂孝光代表理事）はこのほど、地元高校生を招いてリサイクル作業の体験就労を実施した。

てリサイクル事業関連の組合組織を事業協同組合形式で設立してスタート。熊本市を始め熊本県内三市二六町村の資源物リサイクル化推進委託事業を実施することで、自治体系約二万七、事業系約一万七の資源物のリサイクルと約七万七の有価物原料化を行っている。

小・中・高校の社会見学などを積極的に受け入れているが、中学生、高校生については見学だけでなく、実際に作業をしてもらいリサイクルの過程を実感してもらう体験就労、体験学習も受け付けている。今回も地元の学生が分別作業などを体験。汗を流しながら真剣に作業に取り組む学生たちの姿が見られた。

金属くず、古紙、古布、びん・缶、ペットボトル、ガラスくず、廃プラスチック、木くずなど様々な廃棄物を取り扱っており、分別回収やごみ減量化を推進する行政とのタイアップを図り、ノウハウの提供、設備導入のアドバイス、専門知識を持つ人材の派遣などトータルコンサルタントサービスをを行っている。

リサイクル作業に真剣に取り組む地元の学生達

石坂グループは一九七九年五月、リサイクル業者六社が熊本県内で初め

評価制度も経済産業省の 大していく方針なので、 のこして行きたかと思っ ているし、この制度があ